# かっしか 区議会たより

筆3回定例会

おり凹た例五										
9月	14日	本会議(一般質問等) 特別委員会(地方分権·行革、危機管理対策)								
	15日	本会議(一般質問、議案の付託等) 決算審査特別委員会								
	16~23日	常任委員会(建設環境、保健福祉、文教、総務)								
	26日	議会運営委員会								
	27日	本会議(議案の議決等)								
	28~30日	特別委員会(地方分権・行革、危機管理 対策、都市基盤整備)								
10月	3~11日	決算審査特別委員会								
	13日	議会運営委員会								
	14日	本会議(議案の議決等)								

2~4面…一般質問 5~7面…決算特集 8面…可決された議案ほか

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695 - 1111 FAX5698 - 1543 No.229 平成28年 (2016年) 11月15日発行 葛飾区議会

水元公園のカモ

めとする区長提出議案等19件 計補正予算(第2号)をはじ れたほか、平成28年度一般会 |員から区政一般質問が行わ 今回の定例会では、7名の

議員提出議案5件が可決され める意見書(下欄参照)など 無年金者対策の推進を求

2610年に短縮する措置について、平成29年度中に確実に実施できるよう必要な体制整備を行うこと。 低年金者への福祉的な措置として最大月額5千円(年6万円)を支給する「年金生活者支援給付金」 必要な財源の確保を含め、安心の社会保障の実現を図るため め、次の事項について早急に 年金の受給資格期間を25年

だついては、財源を確保した上で、できるだけ早期の実施をめざすこと。

済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を 「員体制の整備充実を図るとともに、専門職員や専門スタッフ等が学校」 定期的な実態調査の実施やメンタルヘルス対策の推進を図ること。 教員の業務の適正化を促進すること。③部活動は、教員の負担軽減を ム学校」の実現を図るため、チーム学校推進法を早期に成立させること。②教員が担うべき業 子どもと向き合う時間を確保するため、学校や教員が携わって 休養日の設定を徹底した上で、地域のスポーツ指導者や引退したトップアスリート、退 教員が、総合的な指導を担う日本の学校の特徴を生 地域の幅広い協力を得て行えるよう、環境整備を進めること。 職場づくりを推進するため、 を図りつつ、部活動の指導を てきた従来の業務を不断に見 **連営や教育活動に参画してい** 実施について強く求める。<br />
① 求める意見書 子かしつつ、複雑化・困難化

現下の低金利環境を踏まえ、有利子奨学金の金利を引き下げること。

、制度設計を着実に進め、既卒者への適用も推進すること。併せ

いては、学力基準を撤廃し無利子奨学金を受けられるようにすること。④写

」の流れを加速するとともに、無利子奨学金の残存適格者を直ちに解消・

すること。③低所得世帯につ

|を創設すること。 ②希望するすべての学生等への無利子奨学金の貸与をめざし、 「有利子から無利子

貧困の連鎖を断ち切るため、平

成29年度を<br />
目途に<br />
給付型<br />
奨学 ことがないよう、奨学金や授 納税者である国民の理解も得つつ、学生が安心して勉学に対

|に関する司法判断の根拠規定を整備すること。 ②非正規雇用労働者と正規 広げる「同一労働同一賃金」の一日も早い実現のため、次の事項について 金アップや処遇改善に取り組みやすくするための様々な支援のあり方に 差の是正及び両者の待遇差に関する事業者の説明の義務化などについて関連法案の改正等を進めるこ 国会及び政府に対し、日本の雇用制度にすでにビルトインされている独 意見書 ついても充分に検討すること。 労働者の昇給制度の導入等の するとともに、不合理な待遇 し、その活躍の可能性を大き 日の雇用慣行や中小企業への に躊躇なく取り組むことを強

者に対し、

# 年賀状等時候の挨拶状 政治家の寄附は、禁止されています。また、 (答礼のための自筆のものを除く。)を出すことも禁止されています。

励めるよう、<br />
返済不要の「給

次の事項について取り組む

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金(出産・新築等)、贈り物(お中元・お歳暮等)をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

設置を促進すべきと思う・カー普及を公助の一環と

はイン・リマーを関するとともに、利用保進策をどのようにするのか伺う。 を現地でのお知らせ掲示や広報かつしか、ホームページで周知を図っていく。利用促進策をどのようにするのか伺う。 を現地でのお知らせ掲示や広報かつしか、施設の改善を図るとともに、利用料金についても利用しやすい料金設定を検討していく。 田料金についても利用しやすい料金設定を検討していく。 設定を検討していく。

の設置

できるような、基礎基本を徹底させできるような、基礎基本を徹底させてきるような、基礎基本を徹底させた。 学力に応じた検定の受験を奨励し、生徒の英語検定受験のための取り組みを推進する。 合格している中学3年生の数と割合合格している中学3年生の数と割合合格している中学3年生の数と割合合格している中学3年生の数と割合

思うがどうか。 思うがどうか。 とう年度、ゼロ歳児から2歳児までの 定員を30名近く拡大する予定であり、 定員を30名近く拡大する予定であり、 では自の対策等も検討していく。 で図っていくのか伺う。 を国や都の制度を活用するとともに、 事業者と連携した人材募集の支援な ど区独自の施策を検討し、人材確保 策をより効果の高いものにしていく。 現音解消の見込み など

答手ャレンジ検定に全ての生徒が合格 で、学力に応じた検定の受験を奨励 で、学力に応じた検定の受験を奨励 し、生徒の英語検定受験のための取 し、生徒の英語検定で発展させ

の計画の改修経費の一部として、昨の計画の改修経費の一部として、昨年度第4次補正予算で45億円を公共年度第4次補正予算で45億円を公共が設建設基金へ積み立てたが、平成が設定がある。

業者と調

中学生の英語検定取得の取り組みを感震ブレーカー設置普及の促進と

スケアードストレートの紹介、PRために有効であり、主催者に対してしさや注意点などを理解してもらう

# (3) 平成28年[2016年]11月15日

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会 公式サイトや区政情報コーナー(区役所 3 階)、図書館などでご覧になれます。

(要旨)

いる課題と区の対応、また、今後の問芝生化した校庭の維持管理で生じて学校の校庭芝生化

大夫様ス言文分 上げたと聞いているが、広域避難の 実現をどのように進めていくか伺う。 答同協議会では、5区の事象に特化した荒川での想定に基づく具体策として共同検討組織の設置基準の明確化や対応策の検討、病院・要配慮者施設などのヒアリングの実施など、互いの検討結果を情報交換しながら進めていく。 対策協議会の経過と結果 など対策協議会の経過と結果 など

公共施設の監視カメラ

答公園の施設へのいたずらなどの事件が発生しており、警察の巡回をお願いしている。自治町会等でも街の防いしている。自治町会等でも街の防犯対策に力を入れるところが増えており、防犯カメラの設置要望が多く寄せられているため、犯罪を抑止し、安全・安心な街づくりに向けて、事件が多発している公園や児童遊園に防犯カメラを設置していく。

門田光移動教室へのALT派遣、イングリッシュ・キャンプ、中学生海外グリッシュ・キャンプ、中学生海外がプログラムを工夫し、児童が積極がプログラムを工夫し、児童が積極がプログラムを工夫し、児童が積極がプログラムを工夫し、児童が積極がプログラムを工夫し、児童が積極がでは準備が十分行えないことができたことが成果であり、年度当初の実施校では準備が十分行えないことができたことが成果であり、より一層英語を話す機会が増えるようないことが課題である。イングリッシュ・キャンプは東照宮を英語で案内できた喜びが生徒の英語日記に記されるなど、実践的な英会話を楽しむことが課題である。イングリッシュ・キャンプランにしていくことが課題であると、また、率先して挨拶するなどコミュニケーションの大切さを体感しまった。

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会 公式サイトや区政情報コーナー(区役所 3 階)、図書館などでご覧になれます。 (要旨) 区政を聞く一般質問

今後の公園施設

一問子ども目線での楽しい遊具を増やしていくことについては、どのように考えているのか伺う。

答公園の新設や改修の際には、利用者である子どもや保護者の意見を十分聞きながら、その公園の特色を生かした遊具の設置に軽弱の高見を十分弱があるとともに、ホームページなどを活用し周知していく。

※他の質問項目 公園の機能や役割の位置づけ

0

答昨年度改正した葛飾区業務継続計画 の策定に取り組みたい。 の策定に取り組みたい。

と思うがどうか。受援計画について本区も策定すべき問神戸市などで策定が進められている災害対策

うな取り組みをしているのか伺う。 速やかな設置に向けて、区はどのよ

児童相談所移管に向けた取り組みを受援計画の策定と

答現在、橋梁架替事業の詳細設計が実現在の進捗状況を伺う。問京成本線荒川橋梁架替事業について、

づくり 堀切・南綾瀬・お花茶屋地域のまち

感震ブレーカー

にた難しい高齢者や障害者を主な対象として、設置費助成の実施に向けた準備を進めている。 問民間との協働も視野に入れた普及促進策に対する見解を伺う。 答感震ブレーカー設置で、 答感震ブレーカー設置にあたっては、答感震ブレーカー設置にあたっては、で動の信頼性確保のため、民間事業者などとの協働を前提に、確実に設置できる方法などの検討を進める。

自転車の利用状況

「世界」の表示では、

「世界」の表示で 答さまざまな年齢の区民に事故の恐ろ答さまざまな年齢の区民に事故の恐ろの鬼点から、スケアードストレートの観点から、スケアードストレートの観点から、スケアードストレートの観点から、スケアードストレートの実演を区のイベント時に同時開催の実演を区のイベント時に同時開催の実演を区のイベント時に同時開催の実演を区のイベント時に同時開催の実演を区のイベント時に同時開催の実演を区のイベント時に同時開催の実演を区域を対象を表表し、

だ具体的な取り組みを進める。 ど具体的な取り組みを進める。 と見体的な取り組みを進める。 はじめ、専門人材をどのように確保 て児童相談行政を進めるべきと思うが区の見解を伺う。 が区の見解を伺う。 を児童相談所への派遣研修を継続しつつ、専門職の計画的な採用や都からの職員派遣も視野に入れ人材の確保に努める。また、専門家だけでなどの連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見との連携のもと、子どもと家庭を見る。

地の確保や職員体制の構築な

問このたび発表のあった都区財政調整 区別当初算定結果をどう捉え、今後 の見通しをどう推計するか伺う。 答本区は歳入の約4割を特別区交付金 に依存しており、常にその動向を注 に依存しており、常にその動向を注 視する必要がある。平成30年度以降 は、葛飾にいじゅくみらい公園用地 取得に係る需要算定がなくなること から特別区交付金が減少するが、中 期実施計画における主にまちづくり 関連経費の増により、計画事業費が 31年度は今年度の17倍になる見通し である。このような状況を踏まえ、 安定的な財政運営を図るため、年度 間の財政調整機能としての基金への 責め着しなど、責飯均で対め甚盛か

答学習意識調査で英語が好きと回答し である。英語への取り組み姿勢は満である。英語への取り組み姿勢は満である。英語への取り組み姿勢は満である。英語への取り組み姿勢は満にある。 答学習意識調査で英語が好きと回答しどのように捉えているのか伺う。どのように捉えているのか伺う。問生徒たちの英語検定に向けた習慣を問生をある意識や問生を表しているのがは、 問震災時の避難行動における一時集合 場所のあり方について、区はどのような効果を見込んでいるのか伺う。 多近隣の被害状況などを各自が持ち寄り、相互に被害状況などを各自が持ち寄り、相互に被害状況を確認し、この後取るべき行動を判断する場所であり、被害を最小限にとどめる意味でも重要な場所と考える。 民の取るべき行動を判断する場所であり、被害を最小限にとどめる意味でも重要な場所と考える。 民の取るべき行動を判断する場所であめ、活動は災害の状況により一律ではない。区民の取るべき行動を分かりやすく周知すべきと思うがどうか。 答水害時の避難行動に特化した出前講座や広報かつしかでの水害特集などの取り組みを進めている。大規模水害対応の質問項目 避難所自主運営の取り組みなどを活用し、必要が出る。 斬新かつ大胆な対策を講じるべきとう機児童に特化したような区独自のこれまでの施設整備に加え低年齢の問待機児童解消のための対策として、問待機児童の現状と課題

とのの

は 関公共施設の更新需要に対して財政基 関公共施設の更新需要に対して財政 を強固にするため、平成29年度当 な共施設の更新需要に対して財政基 は、1000 で、現時点の見通しを伺う。 で、現時点の見通しを伺う。 を強固にするため、平成29年度当 は、2000 を対して財政基

要と考えるが、区の見解を伺う。 間区内の公園に防犯カメラの設置が必 動線上からは若干外れている。周辺 動線上からは若干外れている。周辺 がまや区民の利便性向上を目指す。 光客や区民の利便性向上を目指す。 光客や区民の利便性向上を目指す。

整維持管理に協力いただいている地域 著維持管理に協力いただいている地域 団体等の人材確保が課題であり、区 としては、学校や地域団体等からの 意見を踏まえ、作業器具の更新や都 の制度を活用した芝生の専門家派遣 など、地域団体等をサポートしてい く。また、維持管理コストの縮減も 課題であり、学校と協力して、芝生 の育成状況に応じた水道使用量かを チェックするなど、維持管理コストの縮減に取り組んでいく。区として は、教育環境の向上や地域団体等と の行成状況に応じた水道使用量かを でいては、区、学校及び地域団体等と の協働の促進にもつながることから、 実現に向けて積極的に支援していく。 実現に向けて積極的に支援していく。 実現に向けて積極的に支援していく。 実現に向けて積極的に支援していく。

障害者施策の推進 間自立支援や親亡き後の生活のため、 世活の場の確保が必要であり、障害者が区内で暮らし続けられる仕組みとして、重度知的障害者や 利用したまま自宅から入所施設に移り、3年から5年間家族以外の介護 者の支援を受ける生活を続けられる 位組みとして、重度知的障害者や 利用したまま自宅から入所施設に移 り、3年から5年間家族以外の介護 者の支援を受ける生活を続けた後、 入所施設の支援プログラムを引き継いでグループホームに移り、生活を 続けられるようにしていきたいと考 えている。こうした仕組みに不可欠 な地域生活支援型入所施設を区内に 確保するため整備・運営する社会福 社法人を積極的に支援する。 の核となる施設とするため、区は適 のなうに支援していくのか伺う。 を施設生活をだ実するためのプロブラ

産業振興のためのプレミアム付商品 所年度発行したプレミアム付商品券 による効果を伺う。 で、区内の消費喚起・区内商業の振 呼に対象があった。 関区内商業の景気状況を考えると、今 後もプレミアム付商品券発行を継続 すべきと考えるが、区の見解を伺う。

徘徊高齢者対策 け個高齢者を早期に発見して速やか に保護する仕組みを構築する必要が あると考えるが、区の見解を伺う。 答商店や金融機関などに勤務する方や 小中学生などを対象とした認知症サポーターの養成に努め、今年度はコンビニエンスストアや宅配業者等と の間で、事業活動中に高齢者に異変を感じた時に本区に連絡する協定を を感じた時に本区に連絡する協定を を感じた時に本区に連絡する協定を を感じた時に本区に連絡する協定を を感じた時に本区に連絡する協定を を感じた時に本区に連絡する協定を を感じた時に本区に連絡する協定を を感じた時に本区に連絡する協定を を感じた時に本区に連絡する協定を を感じた時に本区に連絡する協定を を感じたも間の際に速やかに身元確認 できるような施策を実施し、徘徊関 できるような施策を実施し、徘徊関 現状とその対応及び課題
※他の質問項目 本区の徘徊高齢者の
保護の仕組みを構築していく。
保護の仕組みを構築していく。 第補正予算案を議会に提出する。
助成、施設開設後の運営費を貸し付助成、施設開設後の運営費を貸し付どに要する一時金と土地の貸借料のどに要する一時金と土地の貸借料の

施設の整備支援の現状 など他の質問項目 地域生活支援型入所 区議会

障害者施設の整備促進観光施策の推進と産業の振興

よる、まちの魅力発信事業について京理科大学と協定自治体との連携に問地方創生加速化交付金を活用した東観光施策

金町駅北口周辺地区の考え方の取り組みが必要と考えるが、区のの取り組みが必要と考えるが、区の見解を伺う。 答歩行者の安全確保、駅前広場の整備、バス等の回遊性確保などの課題やバス等の回遊性確保などの課題を対している。

現況につ 問道路整備計画に併せて、幹線道路沿いにある消火器ボックスに避難所をが分かるようなサインの難場所などが分かるようなサインの難場所などが分かるようなサインの構築をしてはいかがか。

発行の課題と改善策 など ※他の質問項目 プレミアム付 ※他の質問項目 プレミアム付 ※を重ねながら検討していく。 く。 合会と協 の、発行 の、発行

付商品券

問地域生活支援型入所施設の整備を進 めるべきと考えるが区の見解を伺う。 答社会福祉法人手をつなぐ福祉会と連 携し、整備計画の具体化に取り組ん できた。同法人が適切な施設整備と 運営を行えるよう、引き続き必要な 情報提供や助言を行うなど、積極的 に支援していく。

卒業生の進路確保 など他の質問項目 特別支援学 校高等部

所施設 医療的ケアを必要とする障 害児の通

問医療的ケアを必要とする障害問医療的ケアを必要とする障害 所工CU(新生児集中治療室院した児童の実態を把握した院した児童の実態を把握した院を整備の検討をお願いする。
一般整備の検討をお願いする。
一般整備の検討をお願いする。
一般整備の検討をお願いする。
一般整備の検討をお願いする。 軍の実態を把握した上で、(新生児集中治療室) を退 いて、区害児が利

施設の現と 具会に施

問避難所運営会議などにおいても母子の特性への理解が深まるような手立てが必要であるが、区の考えを伺う。 答避難所運営チェックリストに妊産婦や乳幼児への対応で必要な事項を記載し、避難所運営会議や訓練で活用載し、避難所運営会議や訓練で活用するほか、今年度は、「女性視点でするほか、今年度は、「女性視点でする予定である。

葛飾区議会公式サイト http://www.katsushika-kugikai.jp/

街路樹の剪定枝葉をチップ化及びチップ堆肥化する施設として整備した。 現在、チップ材などは主に公園の植現在、チップ材などは主に公園の植え込みに、雑草の繁茂を抑える敷きならし材として使用している。 向性について、区の見解を伺う。 育なのリサイクルセンターの今後の方向性について、区の見解を伺う。 住環境の変化や小松橋補修工事の関係で、平成31年6月までに移転する 系で、平成31年6月までに移転する かまする。 予定であるが、循環型社会への有効な取り組みであるため、継続している。 施していく。

認知症への正しい理解の促進妊娠から就学前までの支援強化

葛飾版ネウボラ 問妊娠から就学前まで、かかりつけの専門職が担当の母子および家族全体に寄り添い支える制度であるネウボラを、保健センターが核となって展開することが効果的と考えるが、いかがか。 答保健センターを核として、子育て支援部、教育委員会などが連携する体援部、教育委員会などが連携する体制を構築し、きめ細やかな母子保健制を構築し、きめ細やかな母子保健制を構築ででする。

策自助力の強化・向上のための防災施

本会議の模様は、葛飾区議会公式サイトでご覧いただくことができます。

東京都足立児童相談所

施設整備や教育・福祉施策の安定した財政運営のもと

充実を

J

# 区政を聞

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会 (区役所3階)、

> ※他の質問項目 乳幼児がいる家庭向 けの防災ブックの作成 など えており、今後、導入を検討する。 ンを再構築する上で有効であると考

# 認知症の正しい理解と共生の地域社

同認知症の正しい理解を促進していく

合認知症への理解を深めるため、認知 もの忘れ相談会の開催やもの忘れ予 参加していただいている。認知症サ 知症カフェの運営や実践的な講座に 中で、認知症サポーターの方に、認 包括ケアシステム推進モデル事業の 必要があると思うがいかがか。 い理解の促進に努めていく。 防健診などを通して、認知症の正し よるスキルアップを図るとともに、 ポーターの養成と経験の積み重ねに 症サポーター養成事業を実施し、延 ーとなっていただいた。現在、地域 ベ1万1千人の方に認知症サポータ 問バラの魅力をもっと引き出し、知っ

問かるたなど誰もが知っていて、手に 取りやすく、世代を選ばずに遊べる の普及啓発が広がると考えるが、区 ツールで認知症に対する正しい知識 の考えを伺う

0

答知識を普及啓発するためには、 チラシやパンフレットだけでなく、 ているため、効果的な方法を検討し より積極的なアプローチが求められ 単に

問これまで実施した家族介護者教室の 家族介護者に寄り添う仕組みづくり

すみだオレンジかるた

問非核平和都市宣言を行った区長とし

核兵器廃絶と平和関連事業

# 健康格差の是正

※他の質問項目

非核平和都市宣言区

の看板の増設

答本区も加盟する平和首長会議加盟の

器先制不使用をどのように考えるか

て核兵器禁止平和条約の締結と核兵

世界の自治体と手を携え、非核平和

の実現に向け世論の醸成に取り組む。

答自治体の懸命の取り組みを阻害する 問国は子どもの医療費助成を行う自治 の廃止を求めるべきと思うがどうか もので、本区では平成14年度から減 体にペナルティーを実施するが、そ

問家族介護者のもとへ訪問して話を聞 答身体的、精神的、経済的など複数の 悩みを抱えている介護者の場合、 き、技術の習得支援をすることで、 者の意向や要望をふまえた教室を開 催することが大切だと考える。 継続的に参加できるよう、家族介護 解消につながらない。気軽に、かつ、 つのテーマに絞った講座では悩みの

各国の地域支援事業のあり方への検討 状況を注視しつつ、実態を把握した れるべきと考えるが、いかがか。 的負担を軽減できる仕組みを取り入 不安や疑問を解消し、身体的・精神 問厚生労働省は実質的に患者の選択に す場合には被保険者の負担を最小限 に激変緩和措置を要望している。 に抑え、急激な増加とならないよう

※他の質問項目 差額ベッド代の助成 6区内医療機関に対し、 差額ベッド代 知について改めて情報提供する。 の適正な運用に係る厚生労働省の通 設を持つ区内医療機関へ通知に沿っ よらない場合は差額ベッド代を求め てはならないと通知するが、入院施 た対応を求めるべきと思うがどうか

奥戸フラワーパークの活用

てもらうために、バラの見頃の時期

制度の創設

# 保育士の処遇改善と保育所待機児解

答バラフェスタの開催や夜間のライト

ップを試みてはいかがか。

ネルギーを活用した夜間のライトア にバラフェスタを開催し、太陽光エ

アップは、区民との協働を念頭に関

問江戸川区では育児休業中の保育士が 無給とならないよう、雇用保険の給 本区でも実施すべきと思うがどうか 付金を延長する独自の制度があるが

※他の質問項目 奥戸フラワーパーク

のアピール

係機関と連携して検討する。

日本共産党葛飾区議会議員団

医療・介護の充実

保育の質の向上を



保育園で遊ぶ子どもたち

※他の質問項目

専門家による個店支

問本区の新基準による待機児童数は4 答保育士の処遇改善の必要性は認識し 月時点で10人だが、認可施設に申し など本区に有効な対策を検討する。 者と事業者のマッチングや処遇改善 込んで入れなかった子どもは40人以 ており、事業者の意向を踏まえ求職 上いる。旧基準による待機児童解消 るが、一律の有料化により受益者負

問国は後期高齢者医療制度の低所得者 **蒼**国に対し全国後期高齢者医療広域連 としているが、廃止をやめるよう国 本年3月にも廃止を強く要望した。 への保険料の特例軽減を廃止しよう 額調整措置の廃止を要望している。 に求めるべきと思うがどうか。

問認可外保育施設で事故が多発してい 対し、区が積極的に関与し監督責任 るが、認可外施設への新たな補助制 度を作り、区内の認可外保育施設に

合協議会を通して、やむを得ず見直

合認可外保育施設への指導監督は都が 他の質問項目
区独自の賃金助成制 できるよう必要な働きかけを行う。 えはないが、認可施設への移行相談 など、より高い保育サービスを提供 度については、現時点で実施する考 年1回以上実施し、区も協力して立 を行っている。また、新たな補助制 人調査の立ち会いや相談・指導など

# 商店街と個店への支援

答区内%商店会へは年2回アンケート 問%商店会とともに区内小売店を対象 り組んだ。今後もアンケート調査に 悉皆調査を実施する考えはない。 スタやプレミアム付商品券などに取 性化と消費拡大を図り、フードフェ の悉皆調査を実施してはどうか。 より先手先手の施策を実施するため、 望などを伺っている。これまでも活 調査を実施し、事業実施の把握や要 に、活性化と消費拡大に何が必要か

駅からの遠近により受益に差が生じ

答自転車置き場は受益者負担の原則な 備している。有料化にあたり、駅か 担が逆に拡大するのではないか。 金を設定しており、受益者負担を拡 らの距離など施設の状況に応じた料 どから有料の自転車駐車場として整 大することにはならない。

各本制度の導入にあたり業務が

システム

モニタリング制度の効果及び評価

か。また、今後の見通しを伺う。 対効果を区はどのようにみているの

平成28年以降に作成する給

与所得の

の改修などに多額の経費を要した。

源泉徴収票などの法定調書に

答待機児童解消対策は優先すべき課題 できるよう整備を進める。 であり、平成27年度から3年間で千 も必要な方に必要なサービスを提供 準にとらわれず、年度途中であって 25人の定員増を図っている。 新旧基 の対策を考えるべきと思うがどうか

を果たすべきと思うがどうか。



問制度に対応するための区財 答本年8月末現在約5万件の のカード管理システムの障害 る。地方公共団体情報システム機構 送し、うち約2万8千件は既に交付 担も大きくなっている。制 これからも、迅速な交付に努める。 口の設置など交付促進に努め、現在 より交付に遅れが生じたが、 し、残りも順次受け取れる状況にあ では円滑な事務執行が可能 約4万8千件の交付通 害などに 度の費用 政への負 となった。 知書を発 申請があ 専用窓

答受益者負担の原則や周辺駐 問無料自転車置き場を新設し 今までの方針にのっとり整備をする。 砥橋下自転車置場、新小岩西自転車 公平性から、自転車置き場の 置場の廃止は撤回すべきだがどうか。 有料の自転車駐車場への変更という の廃止、 車場との

※他の質問項目 利用者と利用 への説明会の開催 用待機者

# 所 **\***

※他の質問項目 社会保障・税番号制

導入の効果を一層高めていく。

ービスの向上策の検討を深め、制度 **人番号カードなどを活用した区民サ**  的確に対応し、行政手続の簡素化や

しては法改正やシステム改修などに

が順次拡大される予定である。区と

ナポータルのサービス開始など運用

効率化に一層取り組むとともに、

個

月から自治体間での情報連携やマイ

号の記載が必要であり、また来年7

度に関わる区財政の歳出と歳入

マイナンバー、防災、雇用 長期的な区民第一の選択

# 社会保障・税番号制度

問個人番号カードの交付が遅. 申請数や交付状況を伺う。 だが、現時点での個人番号 れたよう カードの

答仕様書などに土質や性状などの条件

ため区が調査すべきと思うがどうか。

を規定するとともに、実際に搬入さ

問高台化に用いる土の安全性の担保の

新小岩公園防災高台整備事業

来、公園として安心して利用できる

ように土の安全性に十分配慮する。

搬出先の状況も現地で確認する。将

とを区が調査・確認するほか、土の

れた土が仕様に基づくものであるこ

問区が行うべき災害対策として、広範 答地域住民に本事業の意義や必要性を 用者と意見交換しながらニーズに合 再整備にあたり地域住民や公園の利 積極的に説明するとともに、公園の な地域住民の意見を聞き、地域住民 と思うが区の考えを伺う。 が納得できる事業として進めるべき った公園となるよう取り組む。

※他の質問項目 再公募に向けた検証 結果の公表予定

答公契約条例の趣旨は十分理解してい 問公契約条例の制定について検討を進 ※他の質問項目 指定管理者労働環境 るが、区内の中小・零細企業に与え の意見を聞き、引き続き検討する。 な検討が必要である。広く関係団体 る影響も大きいことなどから、慎重 めるべきと思うが、区の考えを伺う。



歳出決算額(円)

181,643,500,084

59,242,918,178

8,833,273,318

32,866,147,937

283,304,477,669

37, 9%

18.2%

16.8%

6.4%

5.1%

4.4%

3.3%

2.4%

1.6%

1.4%

718,638,152

歳入歳出 差引額(円)

11,108,466,214

181,245,440

10,268,571

573,123,484

11,873,950,070

846,361

5.5%

15.7%

3.1%

3.5%

0.9%

7.1%

計

福祉費

総務費

職員費

教育費

環境費

衛生費 公債費

議会費

諸支出金 都市整備費

産業経済費

平成27年度各会計決算

対前年度 伸び率

6.7%

15.1%

3.2%

4.7%

1.0%

7.9%

歳入決算額 (円)

192,751,966,298

59,424,163,618

8,843,541,889

33,439,271,421

295,178,427,739

719,484,513

730億9799万3千円

351億3544万 3 千円

322億9756万 2 千円

123億3888万2千円 99億2703万7千円 84億8994万1千円

64億1089万3千円

45億8105万8千円

27億2000万0千円 47億5986万3千円

1927億5196万 6 千円

泊業者の取り締まりの強化を求めます

また、区内の宿泊施設の充実と違法民

会

国民健康保険事業特別会計

後期高齢者医療事業特別会計

介護保険事業特別会計

駐車場事業特別会計

特別区交付金

地方消費税交付金

使用料及び手数料

国庫支出金

特別区税

都支出金

繰越金

諸収入

繰入金

特別区債

その他

歳

般

# 民 主 党 議 員 4

# 施設の増設を強く求めます。待機児童 多目的に転用するよう東京都と協議し 対策は、0~2歳児の受入れ枠拡大の 併せて都有地を活用した福祉・子育て 本園舎完成後も

ため、環境推進費でもしっかりと対応 を媒体とした病気が話題になっている 環境費では、近年デング熱などの蚊

都市整備費では、街づくり費は、青

が、さらに定員の弾力的な活用を望み 的に取り組んでいることを評価します らなる周知徹底・普及啓発の推進を求 を望みます。また、ヘルプカードのさ

とより、財政負担とのバランス 熱心に取り組む町会にリヤカ・ たものを望みます。防災につ 計画であり、区民サービスの向上はも の本区の施設等の更新には欠かせない す。公共施設等総合管理計画は に見直し、適切な業務の実施を 適正な業務配分や働き方のある。

くの文学作品の舞台でもある。 求めます。福祉費は、日常生活用具に 源をつなぐ、誘引性・回遊性で 交流事業の創設や、区内全体の 切菖蒲園の菖蒲を株分けした都市との 費では、伝統産業の販路拡大の にするなど工夫を望みます。 産業経済 用紙を葛飾らしいイラスト入りのもの 度の創設を要望します。また、 ることと、ガラスの飛散防止の なるPRを求めます。観光施策では堀 充や後継者の育成に力を入れ、 防災資器材を提供する仕組みな の推進を の観光資 柴又の更 の支援拡 の助成制 を構築す ーなどの 出生届 また多

今後も行財政改革に取り組み、 第一の区政運営が求められて な区政運営を進められるよう求めます。 区民の皆様が安心して暮ら 職員の健康管理上から ついては、 スの取れ は、今後 を望みま り方を常 います。 せる区民 効率的

> 食品ロス削減への取り組みとしてフー 極的な取り組みを要望します。また、

用地取得に協力する借地人への

きる仕組み作りを要望します。都市整 ドドライブを拡充し、自主的に実施で 備費では、密集住宅市街地整備促進事 生活再建の協力と、所有者不明の土地

ついて今後も区民の要望に応える検討 派遣で事前学習の充実を図り、ホーム 要望します。教育費では、中学生海外 得や道路整備についても丁寧な対応を 誰でもトイレの設置をするべきです。 ど積極的に推進されるよう要望します たっては、教育委員会を中心に保健セ の生徒との継続的な交流を望みます。 また、事業認可を取得した補助沿号線 ンターと連携してキャラバンを組むな ステイ先での十分な時間の確保と現地 新小岩駅南口駅前広場整備工事では、 の財産管理制度の利用促進を望みます 小中学校での「がん教育」の実施にあ (細田北地区)の整備事業は、用地取

# え、私立保育園の運営事業者に対する ための多様な保育メニューの拡充に加

さらなる支援についても要望します。 法改正を受け、全庁を挙げて早急に取 衛生費では、自殺・うつ対策は国の 組むことを強く求めます。

の改善を求めます。 源とごみの収集カレンダーの配布ミス を求めます。清掃費は、16種類ある資

早い事業着手を要望します。 結んで、区北部で不足している道路網 や38号線の未着手範囲、特に足立区に 戸六・七丁目地区街づくりにおける新 機能を持つ重要な路線であり、東京都 だけでなく、災害時の避難路としての の構築や地域の街づくりを充実させる す。道路橋梁費において、補助沿号線 至る補助認号線の橋梁新設は、新宿六 丁目・亀有地区と水元・西水元地区を 設道路の交通安全対策強化を要望しま 足立区と綿密な調整を行い、一刻も

も配慮しながら環境改善を進めるよう を経て老朽化も目立つことから、改修 様で実践的な体験を求めます。学校ト は、キャリア教育の一環としてより多 に併せて宿泊室への冷房設置を強く求 **要望します。日光林間学園は竣工25年** イレ改良工事は学校改築の進捗状況に 教育費のうち、中学生職場体験事業

> 改修計画は総合管理計画の方針を踏ま 備を求めます。これからの学校改築・

め、MIMの効果的活用と特別支援教

室専門員をバックアップする体制の整

特別支援教室のさらなる充実を図るた

党の意見要望を申し添えます。 果的・効率的な行政運営と安定した財 況がみられるようになるなど、経済の 地開発公社経費は低金利の融資などの 状化対策の今後の充実を求めます。土 い土地が多いため、建物の耐震化や液総務費については、本区は地盤の弱 今後の行財政運営に資するため、 は適正に執行されたものと認めますが 政基盤の確立が求められます。 好循環が着実に回り始めました。さて、 策により、幅広い分野で良好な経済状 つくり事業の進展に伴う、経費の増加 設の維持・更新の適切な実施や、まち や大規模修繕の時期が到来する公共施 本区においては、これから一斉に改築 に対応するために、これまで以上に効 そのため、27年度の各決算に関して 平成27年度は安倍内閣による経済施 効果的・効率的な行政運営を 将来の財政負担を見据え

ずれも認定すべきものと決定し、

会計決算について採決を行い、

680億5143万 9 千円

254億5874万8千円

250億9910万1千円

169億3669万 6 千円

167億2647万 1 千円 124億9873万 8 千円

45億6301万 4 千円

42億8503万2千円

40億1065万 9 千円 33億5821万 5 千円

6億5538万8千円

1816億4350万 0 千円

決算審査特別委員会において、各各分科会で審査を行い、その後、

成する決算審査特別委員会が設置 を審査するため、38名の議員で構 成27年度各会計歳入歳出決算5件

9月15日の本会議において、

平

37.5%

14.0%

13.8%

9.3% 9.2%

6.9%

2.5%

2.4%

2.2%

1.8%

0.4%

審查特別委員

会

れました。

の観点から早期実施を望みます。 達成するよう求めます。公共施設オー 岩の新病院は、目標の病床数を早期に 込む活動を行う施設運営を望みます。 民への丁寧な対応を行い、地域に溶け 庁舎の出退勤管理のシステム化は行革 活用で財政負担の軽減を求めます。 プン・リノベーション推進事業は、住

成27年度決算に対す 記念館の展示や寅さんサミットは、 す。観光マップは、Wi-Fi環境の掲 載など情報の充実を求めます。 寅さん ED化は、全商店街への普及を望みま 産業経済費では、商店街装飾灯のL 職員費は、 適正に執行されていると

その他は分担金・負担金など。 千円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

らなる企画の充実を求めます。 別養護老人ホーム措置費が昨年比で約 経済的その他の理由で自立支援が必要 2千万円増えていることは、高く評価 な高齢者が増えている現状に鑑み、特 福祉費では、介護は必要としないが

# 葛 飾 メ 議 会 公 明 党

区民第一の区政運営を

や助成額の増額など制度の拡充を望みは、申請から還付までの仕組みの検討 さらに区民の協力を得るためにも、区 民サービスの向上を目指し、継続実施 クルへの意識啓発に効果があり、今後 レンダーは、ごみの分別や資源リサイ ます。環境費は、資源とごみの収集力

を要望します。地域緑化推進事業は、

がるように工夫を求めます。地球温暖

地域をつなぐ活動として、満足度が上

化対策では、環境先進区を目指し、積

業特別会計は地域包括ケアシステムを されていると認めますが、介護保険事 フェスタは、更なる発展を期待します ます。区内外に定着しつつあるRUN の特色を生かした図書館運営を要望し の機会を捉えてデジタル化や、各地域 ともに減少傾向であり、システム更新 めます。図書館は入館者数・貸出冊数 各特別会計については、適切に執行 がこの事業の意義を理解し、健診後の け教室の実施を要望します。 は飼い主に対する啓発を図る大 付を求めます。動物適正飼養の ことを望みます。インフルエン 症予防の注意喚起に暑さ指数も加える す。衛生費では、防災無線になる フォロー体制につながることを望みま ます。5歳児健診は、すべての 飼い主の の推進に 種票の送 よる熱中 の保護者 ンザ予防 減を図る「訪問レッスン」が適切な予 とともに、自宅で介護する方の負担軽 書通帳の作成を求めます。 各特別会計 のプレゼントとなるような夢のある読 みます。未来の子ども達への本区から えて適切な選定を行い着実な推進を望 定いたしますが、介護保険事業につい 算措置を講じ実施されるよう求めます となる認知症アプリの導入を要望する て認知症の早期発見・早期診断の一助 については適正に執行されていると認

四年度決算は、全体的に区民の生活、 健康、医療、防災、都市交通、街づく りなど重要な予算が執行されている。 個々には改善や見直しを強く要望する 案件もあるが、総合的に勘案した場合、 をとり、修繕しなことを要望む。福祉費は、 特に児童福祉で待機児解消のための保育が提供できるよう強く要望する。 をであり、それが地域の要望であり、区民生活を守るには不可欠な予算であり、を も存続させることを求める。児童館は今後も存続させることを要望む。福祉費は、 特に児童福祉で待機児解消のための保育が提供できるよう強く要望する。 をであり今後も全力で対応することを強く要望する。 一利用促進のために万全の体制で今後のあることを望む。また、再生可能エネルギー利用促進のための普及啓達老人ホームに入ることを望む。環境費では、新規バス路線開通は地域の要望である。 一利用促進のための普及啓発をよりいっそう傾注されることを要望する。衛生費は、 第112年を学るために万全の体制で今後も取り組んでいくことを要望する。衛生費は、 第22年であり今後も全力で対応することを強さ、 第42年では、新規バス路線開通は地域住民の期間ををとり、修繕した空家や跡地の制造に全ての別開発を追い。 第52年では、新規バス路線開通は地域住民の別開発整備事業では南北自由通路の開めかずべきである。新小岩駅周の開きを望む。 であり今後も取り早期実現を望む。都市整定民の小岩駅のホームドア設置は地域住民の財産を望む。 であり早期実現を望む。また、再生可能エネルギーとで表表の適切な対応をとり、修繕した空家や跡地の利活用も並行して推進し本区の特色ある街づくりに活かすべきである。新小岩駅周辺開発整備事業では南北域住民の場合とで表表が表もいる。 第42年である。 第42年

であり、ご家族の協力、お子様でも大きの学習等が引き続き必要である。 を関すが必要だ。ただ、子どもたちの学力向上の結果を出さなくてもいい訳ではない。 「に結果を出さなくてもいい訳ではない。を学力は必要であり、ご家族の協力、お子様でも、保護者から学力への苦情はない。を学校長が言っているのだろうだけで教育をは無理であり、ご家族の協力、お子様の家庭学習等が引き続き必要である。。

基金は取り崩し、苦しい区民生活の応ましたが、ほぼ同額を基金に積み立てましたが、ほぼ同額を基金に積み立てましたが、ほぼ同額を基金に積み立てましたが、ほぼ同額を基金に積み立てましたが、ほぼ同額を基金にあり 区民生活応援の区政に千百億円超の基金は取り崩し

特別養護老人ホームの申し込み基準を要介護3以上としたために、要介護 1・2の方の申し込みが激減しました。 それでも千人を超える待機者がいます。 増設すべきです。また、施設介護の軽 増設すべきです。また、施設介護の軽 増設すべきです。また、施設介護の軽 増となった区民の救済のため、補助制 度を作るべきです。 

たるれるべきではありません。

「特機児童の解消は、喫緊の課題です。
特機児童の解消は、保育の質の低下をさせないためにも営利企業ではなく、社会福祉法人を支援すべきです。地域間のアンバランスを解消するためにも、公立の保育所の増設が必要です。学童公立の保育所の増設が必要です。学童公立の保育所の増設が必要です。学童のます。それなのに、児童館をつぶすにます。それなのに、児童館をつぶすにおける。

はありません。 児童館全廃の計画化は行うべきで はありません。

区民事務所で難病や精神の申請業務 区民事務所で難病や精神の申請業務 で対ービスの低下となっています。保 はセンターの復活が必要です。 健センターの復活が必要です。 保 ですいない窓口での申請は、利用者にとっ でがる場の社会実験は、公共施設間 がス路線の社会実験は、公共施設間 がス路線の社会実験は、公共施設間 がス路線の社会実験は、公共施設間

の声を無視した無料自転車置場の廃止の声を無視した無料自転車置場は、復活すべきです。
自転車置場は、復活すべきです。
のに、他の用途として使用していないの声を無視した無料自転車置場の廃止

リニア新幹線の産業廃棄物を利用するといわれている新小岩公園の高台化るといわれている新小岩公園の高台化は、住民から反対の声が強く、説明会を求めてもいつ行うのか一向に明らかにされず、認められません。 明るい商店街は町の安心・安全のシンボルです。商店街装飾灯のLED化の支援をさらに強め、電気代の無料化の支援をさらに強め、電気代の無料化を行うべきです。

きです。

登付型の奨学金からまず、実施すべた。

がは学時の奨学金からまず、実施すべた。

がは学時の奨学金がらまず、実施すべた。

がは学時の奨学金がらまず、実施すべた。

がは学時の奨学金がらまず、実施すべた。

がは学品では、社会に出る子 貸付型の奨学金では、社子どもたちが輝ける教育を

就学援助受給者が減少していますが、基準となる生活保護費の削減によるものです。外される子どもが出ないようを準の緩和をさらに進めるべきです。教育資料館は、空襲など戦時中の資料を展示しており、廃止は認められていますが、

本語も人 不公正無駄づかい、区民目線で改めよ 不公正無駄づかい、区民目線で改めよ 体に、区有施設の特権的使用を認めて 体に、区有施設の特権的使用を認めて いますが、改めるべきです。 マイナンバーカードは、度重なるシステム障害など、機能不全に陥っています。国民のプライバシー侵害の拡大は、認められません。旧職員寮の利活用に際し、区民や議会に報告なく進める姿勢は問題で、改めるべきです。 児童館全廃、学校の建替え先送りなど、区民の必要な施設を次々とリストラする一方、区民合意のない区役所を、立石駅北口の再開発ビルに移転する計画を推進することは、認められません。日本共産党区議団は、これからも区民の立場で区政をよくするためにがんばります。

# より一層の行財政改革と財政運営を

総務費 総務管理費では、人事管理において災害時の区の非常勤職員の職務を受割が明確でない。災害時における非常勤職員の職務整理を求める。おける非常勤職員の職務整理を求める。おける非常勤職員の職務整理を求める。られないとの見解が示されているため、られないとの見解が示されているため、られないとの見解が示されているため、られないとの見解が示されているため、られないとの見解が示されているため、られないとの見解が示されているため、

関心度は依然として高く、新設の理解区民農園の廃止が多い一方で、区民の環境費 土地権利者の諸事情により

所、足立区などとの連携を進めよ。 トの登用、育成が急務。足立児童相談談所との連携が不可欠。スペシャリス

では、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでの街づくり事を求める努力と協議を進めよ。

福祉費 児童福祉費では、国の待機児童解消のための緊急対策や都の辺億児童解消のための緊急対策や都の辺億門・活用し早急に進めることを求める。保育士確保のため、現在5年までの宿舎借上げ期間の延長や、保育士の短り起こしのためのマッチングや再就職セミナー等を開催し、潜在保育士の掘り起こしのためのマッチングや再就職セミナー等を開催し、潜在保育士の掘り起こしのためのマッチングや再がついる。保育士の掘り起こしのためのマッチングやあり、今後はニーズに合わせ実施回数の増加を求める。

衛生費 公衆衛生費の難病対策事業では、30以上に増えた指定難病へのきだけでなく、難病の症状によって起こだけでなく、難病の症状によって起こる困りごとなどに耳を傾けるなど、当事者に寄り添った対応を求めるとともに、区と専門医療機関等との連携体制に、区と専門医療機関等との連携体制に、区と専門医療機関等との連携体制

「環境費」自然環境保全では生物多様には様々な部署との連携が求められ、には様々な部署との連携が求められ、には様々な部署との連携が求められ。

都市整備費 補正予算での特定空家に対しての行政代執行を実施するなどスピード感を持った対応を評価する。今後空家等対策協議会での議論をもとに区民に向けた周知と相談窓口の設置を求める。街づくり費の立石駅周辺地を求める。街づくり費の立石駅周辺地を求める。街づくり費の立石駅周辺地のに進めてきている。今まで地権者を中心に進めてきた駅前再開発の在り方について、近隣住民、町会や子育て・青でることを求める。道路橋梁費は、無電柱化は景観だけでなく災害対策の場を作ることを求める。道路橋梁費は、無電柱化は景観だけでなく災害対策の場をがある。道路橋梁費は、無電柱化は景観だけでなく災害対策の場をがある。道路橋梁費は、無電柱化は景観だけでなく災害対策の場をがある。道路橋梁費は、無電柱化は景観だけでなく災害対策の場をがある。道路橋梁費は、無電柱化は景観だけでなく災害対策の場をがあるとともに、最新の研究や東京都の場面を注視しながら木造密集地域等の動向を注視しながら木造密集地域等の調合を記述を表示がある。

教育費 教育総務費では、特別支援教室の整備を高く評価する。今後さら教室の整備を高く評価する。今後さら教室の整備を高く評価する。今後さら教室の整備を早急に進めていくために就学前からのアイに進めていくために就学前からのアイに進めていくために就学前からのアイの設置の準備を早急に進めるよう求める。スクールソーシャルワーカー派遣事業は、困難を抱えた子どもたちの多様な状況に対応するためアウトリーチ様な状況に対応するためアウトリーチ様な状況に対応するためアウトリーチ様な状況に対応するためアウトリーチーを表している。

方で、幼少期、児童期からの土と触れ合方で、幼少期、児童期からの土と触れ合う必要性も指摘をされ、その機会の確保を求める。社会教育費の学校避難所運営は、直近の災害による被災地での選営は、直近の災害による被災地での選挙所運営を研究、参考としブラッシュアップせよ。東京2020キャンプゴイドによる東京五輪での練習会場にガイドによる東京五輪での練習会場にガイドによる東京五輪での練習会場にある。各特別会計は了とする。努力を求める。各特別会計は了とする。

求める。また、数年後には児童相談所求める。また、数年後には児童相談所が区へ移管されるが連携が可能な環境を備の準備を求む。小学校の特別支援整備の準備を求む。小学校の特別支援をでは校庭芝生化は不調となったが、一では校庭芝生化は不調となったが、一では校庭芝生化は不調となったが、一では校庭芝生化は不調となったが、一では校庭芝生化は不調となったが、一次では校庭芝生化は不調となったが、一次では校庭芝生化は不調となったが、一次では、数年後には児童相談所求める。また、数年後には児童相談所求める。

# 総力を挙げて健全な教育を-本区の不登校対策に

切かつ妥当であると判断する。27年度に執行された本区の1

総務費 昨年5月、立石駅北口再開発 等業が東西棟を入れ替える大きな変更 事業が東西棟を入れ替える大きな変更 事業が東西棟を入れ替える大きな変更 事業が東西棟を入れ替える大きな変更 事業が東西棟を入れ替える大きな変更

引き上げる責任を果たせ小中学校は子どもの学力を

学校給食費の公会計化を私費会計を改め

働く人を大切にする行政運営を区民の生活基盤を支え、

# 委員長報告(要旨) 決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、9月15日の 大算について審査を行ったものです。 まず、当委員会では、同日款項別の まず、当委員会では、同日款項別の 審査を行うために、4つの分科会を設 置し、第1分科会は18名の委員により、 一般会計歳入歳出決算のうち、議会費、 総務費、産業経済費及び都市整備費を、第 2分科会は18名の委員により、福祉費 2分科会は18名の委員により、福祉費 2分科会は18名の委員により、福祉費 2分科会は18名の委員により、福祉費 費及び公債費以下と各特別会計歳入党第4分科会は18名の委員により、教会員により、環境費及び都市整備費を、

第1分科会に1月1日 会は10月4日に、第3分科会は10月5 会は10月4日に、第3分科会は10月5 会は10月4日に、第3分科会は10月5 第1分科会は10月3日に、第2分科出決算を所管しました。

委員会を開催し、各分科会長から審査を行いました。 当委員会はそれを受けて10日

特別会計歳入歳出決算」「介護保険事業特別会計歳入歳出決算」「介護保険事業がも賛成多数で報告のとおり認定すべきものと決定しました。
また、「後期高令であると、「後期高令であると、「後期高令であるという。 nのとおり認定すべきものと決感出決算」については、全会一「後期高齢者医療事業特別会



千円を追加し、予算総額を窓億5千級

97m)ほか2件 木二丁目5番3の一部まで(延長38・

会中向峯秋

た きょう と と よ ま ま え 至 え 至 え 実

○伊藤 よしのり 中 村 けいこ 中 村 けいこ で か 第

けひ いろ こみ 正 進

四つ木二丁目88番1の一部から四つ\*特別区道の路線の認定

歳入歳出にそれぞれ6億3千巡万5正予算(第1号)

▼平成27年度

一般会計歳入歳出決算

塩澤雄一氏を任命することに同意

教育委員会教育長の任命同意

人権擁護委員候補者の推薦に関する

算

# 次の定例会は11月下旬開催予定です

議案名下の (各会派の賛否は下欄参照) 繁名下の 分 は意見の分かれた議案

可

決され

た議

案等

の区域内における建築物の制限に関地区計画及び防災街区整備地区計画

する条例

平成28年度一般会計補正予算(第2 (区長提出議案等 19 <u>件</u>

十55万1千円とする。 十円を追加し、予算総額を1千85億9 ·平成28年度国民健康保険事業特別会 歳入歳出にそれぞれ45億2千窓万5

新分

千円を追加し、予算総額を61億4千58 >平成28年度後期高齢者医療事業特別 歳入歳出にそれぞれ2億5千<sup>88</sup>万7計補正予算 (第1号) る。

万7千円とする。

公園改良(その3)工事請負

水元中央公園屋外運動施設整備及び 水元中央公園改良(その4)及び防 災活動拠点整備工事請負

を追加し、予算総額を9億8千四万2

歳入歳出にそれぞれ3千8万2千円

会計補正予算 (第1号)

・平成28年度介護保険事業特別会計補

土地の買入れ

6

他

成が次のように変わりました 地方分権・行革特別委員会の委員構

車駐車場とするほか、所要の改正をす ▼自転車駐車場及び自転車置場条例 小岩西自転車置場を新小岩西自転 秋米学筒田井 (◎委員長

出 うに変わりました 議会運営委員会の委員構成が次のよ ぼ たかひさ よしゆき みつよし 洋 と よえ じょうじ よしのり

お 実施を求める請願 ついて保護者も含めた検討を改めて 知

葛飾区立飯塚幼稚園の今後の運営に 願

結 の 出 た 請

等に関する法律の改正に伴い、青戸

俗営業等の規制及び業務の適正化

# 5 せ

×反対 (○替成

○副委員長

◇理事)

るほか、所要の改正をする。

ダンスホールを規制の対象から除外す

| 目地区地区計画の区域内において、七丁目地区地区計画及び東新小岩|

見の 分かれた案

―表決に加わらず)

たい プロ・プラー プラー イモー アン・コー (〇) 質成、 * 反対、一表次に加わらり)													
			会 派 名				( ) 内は会派所属議員数						議決
			自民 (13)	公明 (11)	共産 (4)	民進 (3)	政葛 (3)	無※1 (1)	無※2 (1)	無※3 (1)	無※4 (1)	無※5 (1)	結果
予	算	平成28年度葛飾区一般会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	可決
決  算		平成27年度葛飾区一般会計歲入歲出決算	0	0	×	0	0	0	0	0	×	0	
	쑙	平成27年度葛飾区国民健康保険事業特別会計歲入歲出決算	0	0	×	0	0	×	0	0	×	0	認定
	异	平成27年度葛飾区介護保険事業特別会計歳入歳出決算											
	平成27年度葛飾区駐車場事業特別会計歲入歲出決算	0	0	×	0	0	×	0	0	0	0		
条例	li <del>d</del> i.	葛飾区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	0	0	×	0	0	×	×	×	×	0	可決
	נויקו	葛飾区自転車駐車場及び自転車置場条例の一部を改正する条例	0	0	×	0	0	×	0	0	0	0	
₹ 0	他	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見について	0	0	_	0	0	0	0	0	0	0	異議なし

自民=自由民主党議員団、公明=葛飾区議会公明党、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、民進=葛飾区議会民進党議員団、政葛=政策葛飾、無=無所属

# 区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

成 議 聡 よう 良 至 本 とよえ 沢 五十六 I みつよし 安小米 秋倉峯 家沢岸 池田 ひさよし よしのり 自由民主党議員団 \_\_\_\_ 上 原 ゆみえ 黒柳 じょうじ 牛 山小 山 彰 一 子 正 江 口 ひさみ 葛飾区議会公明党 出口 よしゆき おりかさ 明実 日本共産党葛飾区議会議員団 中 江 秀 夫 中 村 しんご 三小田 准 葛飾区議会民進党議員団 けいこ 村 米 真 吾 山 きくじ 会 田 浩 貞 大 拓 工 藤 ( \* 1) 属 天 野 ゆうや ( \* 2 ) うめだ 信 利 小 林 ひとし ( % 3 )( \* 4)摩 雪 絵 ( \* 5) むらまつ 勝康

部を改正する条例

|同||労働同

一賃金」

の実現を求め

条 例 分

教育長の給料の月額を改める。

教育委員会教育長の給与等に関する

精神障害者に対する公共交通機関の

連賃割引の適用を求める意見書

る法律の改正に伴い、教育委員会委員 地方教育行政の組織及び運営に関す 行政委員会の委員の報酬及び費用弁 償に関する条例

長の報酬に係る規定を削るほか、

→ 成27年度駐車場事業特別会計歳入 入歳出決算分 平成27年度介護保険事業特別会計歳 会計歳入歳出決算

計蔵入歳出決算 **分** 計蔵入歳出決算 **分** 計蔵入歳出決算 **分** 平成27年度後期高齢者医療事業特別 により、議会の意見を聞く。 推薦に異議なし、 意見分 人権擁護委員法第6条第3項の規定

議員提出議案 5 件]

意見書の要旨は1面に掲載 る意見書 無年金者対策の推進を求める意見書 チーム学校推進法の早期制定を求め

**歴党葛飾区議会** 天野ゆうや議

▼返済不要の「給付型奨学金」の創設 及び無利子奨学金の拡充を求める意 員の会派所属が日本共産党葛飾区議 議員団から無所属に変わりました。 会派所属の変更 8月30日付をもって、

議員の住所変更 野 21 1 101 ゆうや議員

員員員員員長長

佐々木 高村 で と 彰 俊 か とようじょうじょうじょうじょうしゃ か き 一 さ けいこ 隆 拓 こ